# ２０１９年
# 市民訪問団
# 姉妹都市派遣事業
# 報告書

2019年9月29日（日）～10月6日（日）

深川国際交流協会

# 目　　次

１．団長あいさつ　……1

２．市民訪問団団員名簿　……2

３．２０１９年　市民訪問団姉妹都市派遣事業日程　……3～6

４．訪問日程の概略　……7～20

9月29日（日曜日・１日目）
30日（日曜日・１日目）
10月１日（火曜日・３日目）
２日（水曜日・４日目）
３日（木曜日・５日目）
４日（金曜日・６日目）
５日（土曜日・７日目）～6日（日曜日・８日目）

5．訪問を終えて（団員からの感想）　……21～25

6．フォトギャラリー　……26～28

７．資料
（１）アボツフォード市の概要 ……29
（２）アボツフォード市との交流経過 ……30

# アボツフォード市への市民姉妹都市訪問を終えて

深川国際交流協会
副会長　宮川　央子（団長）

2019 年（令和元年）9 月 29 日から 10 月 6 日までの 8 日間、市民訪問団として、姉妹都市であるアボツフォード市を訪問させていただき、密度の濃い時間を過ごして参りました。

今回の訪問は、これまでの「6 年に一度の公式訪問団」として実施されていた、市が主体となった派遣事業ではなく、深川国際交流協会が主体となった市民訪問団として派遣されることになりました。

私達団員は、深川市及び深川国際交流協会の呼びかけにより、深川商工会議所、きたそらち農業協同組合、深川青年会議所，深川国際交流協会から推薦をいただいた女性５名です。

今回の訪問団は、「地域で活躍する女性の国際交流」をテーマに、視察及び交流を実施して参りました。9 月 30 日から 10 月 4 日までの視察の中で、私達は 30 名以上に及ぶアボツフォードで活躍されている各種各方面の女性にインタビューをすることができました。

ここに報告させていただいた女性達との出会いから、私達は、他を受け入れ、違いを認め、自分たち一人一人が、これからの生活に立ち向かうパワーと教えを胸にすることができたと感じております。

そして、深川市で生活する個人として、今回の経験を基に市のために、考え、行動ができるよう努めていきたいと思っております。

結びに、私たちを気持ち良く送り出していただいた所属組織の皆さんに感謝を申し上げるとともに、今回の視察をコーディネートし、親身になってお世話くださったアボツフォード市に在住する日加親善協会役員のエアード・フラベルさん、夫人のシーラさんに心から感謝申し上げます。

# 深川市民姉妹都市訪問団団員名簿

| | |
|---|---|
| 深川国際交流協会　副会長 | 宮川　央子（団　長） |
| 深川商工会議所　常議員 | 倉本　茂子（副団長） |
| きたそらち農業協同組合 金融共済部長 | 井上　正恵 |
| 深川国際交流協会　理事 | 定岡　統美（通　訳） |
| 深川青年会議所 | 佐藤　志代 |

# 2019 年度　市民姉妹都市訪問団　派遣日程

## Sunday, Septemuber 29 ～ Sunday, October 6, 2019

| 月日(曜日) | 時間 | 研修･活動内容 |
|---|---|---|
| 9 月 29 日(日) | 9:00 | Meeting at the Fukagawa station |
| | 9:19 | Get on the train (Lilac14 ) |
| | 11:12 | Arrived at the Shinchitose airport |
| | 13:05 - 14:50 | Shinchitose airport-Narita airport(AC6288) |
| | 16:50 | Boarding at the Narita airport(AC004) |
| | 9:25 | Arrived at the Vancouver |
| | 10:30 | Transport to the Sandman Hotel at Abbotsford |
| | Lunch | Denny's restaurant (at the hotel) |
| | 13:30 - 18:00 | Rest at the hotel self |
| | 18:00 | Potluck dinner in The Swamp |
| | Evening | Welcome reception in the Swamp with the presenters Aird & Sheila |
| 9 月 30 日(月) | 9:00 | Abbotsford Community Foundation |
| | 10:30 | Agrifair |
| | Lunch | Ivana |
| | 14:30 | Archway Community Services |
| | 16:00 | Linda Utas - business women |
| | 17:15 | Return to the hotel for a rest before dinner |
| | 18:00 | Dinner at The Swamp |
| | Evening | University Women's Club at The Swamp |
| 10 月 1 日(火) | 9:00 | Schoolboard – Sandy Hill Elementary School |
| | 10:30 | UFV – university President |
| | Lunch | Tanglebank - Brambles Bistro |
| | 13:30 | Schoolboard – Teacher of English as a Learned Language |
| | 15:00 - 15:45 | UFV Dean of Science Lucy Lee |
| | 16:00 | Return to the hotel for a rest before dinner |
| | 17:30 | Moxies restaurant on Simon Ave (at the hotel) Vicki Asada & associates |
| | Evening | Professional Womens Discussions Vicki Asada & associates |
| 10 月 2 日(水) | 8:30 - 9:30 | Financial Services |
| | 10:00 - 10:30 | Meet with Mission's Mayor Alexis at English Tarts Tea House |
| | 10:30 | Mission's First Ave retail stores with women owners |
| | Lunch | Black Berry Kitchen |
| | 13:30 | Chamber of Commerce |
| | 15:00 | Quantum Developments |
| | 16:15 | Return to the hotel for a rest before dinner |
| | 17:45 | Abbotsford Judo Dojo tokue suda |
| | Evening | HighStreet Shopping Mall - various restaurants |

| 月日(曜日) | 時間 | 研修･活動内容 |
|---|---|---|
| 10 月 3 日(木) | 9:00 | Christine Weibe – Cimmunity Volunteer & Entrepreneur |
| | 10:30 | Abbotsford – Mission Recycling Depot |
| | Lunch | Clayburn Village Store |
| | 13:30 | Abbotsford Hospice |
| | 15:00 | S.P.C.A |
| | 17:15 | Return to the hotel for a rest before dinner |
| | 18:00 | Seven Oaks Shopping Mall Food Court |
| | Evening | Seven Oaks Shopping Mall |
| 10 月 4 日(金) | 9:00 | Abbotsford Arts Council |
| | 10:30 | Trethewey House |
| | 12:00 - 13:00 | Sikh Temple |
| | 13:30 | Walking Tour around Mill Lake |
| | 15:00 | The Reach |
| | 16:30 | International Friendship Garden |
| | 17:15 | Return to the hotel for a rest before dinner |
| | 18:00 | Farewell party at The Swamp |
| 10 月 5 日(土) | 9:00 | Check out the hotel |
| | 9:30 | Farmer's Market |
| | 9:50 | Depart for YVR – Vancouver Airport |
| | 11:00 | Arrive at YVR airport |
| | Lunch | At YVR airport |
| | 13:50 | Transport to Vancouver Airport(AC003) |
| | | Return to Fukagawa |
| 10 月 6 日(日) | 15:50 | Arrived at the Narita Airport |
| | 17:55 | Boarding at the Narita airport(AC6235) |
| | 19:45 | Arrived at the Shinchitose Airport |
| | | Return to Fukagawa by bus |
| | 22:00 | Arrived at the Fukagawa city |

# 2019 年度　市民姉妹都市訪問団　派遣日程

## Sunday, Septemuber 29　～　Sunday, October 6, 2019

| 月日(曜日) | 時間 | 研修・活動内容 |
|---|---|---|
| 9 月 29 日(日) | 9:00 | JR 深川駅集合 |
| | 9:19 | 〃　出発　特急ライラック 14 号(エアポート 104 号) 乗車 |
| | 11:12 | 新千歳空港着　昼食 |
| | 13:05 ― 14:50 | 新千歳空港-成田空港(AC6288) |
| | 16:50 | 成田空港発(AC004)<br>国際日付変更線通過　所要時間約9時間 (時差 17 時間) |
| | 9:25 | バンクーバー空港着 |
| | 10:30 | サイモンズアベニューのサンドマンホテルへ送迎(Aird) |
| | Lunch | Denny's restaurant (at the hotel) |
| | 13:30 - 18:00 | 各自ホテルで休憩 |
| | 18:00 | Aird 宅にて歓迎ポットラックパーティー　Aied and Sheila |
| 9 月 30 日(月) | 9:00 | アボツフォードコミュニティ財団 |
| | 10:30 | アグリフェア |
| | Lunch | Ivana |
| | 14:30 | アーチウェイ・コミュニティサービス |
| | 16:00 | リンダ・ユタス　ビジネスウーマン　訪問 |
| | 17:15 | ホテルへ戻る |
| | 18:00 | Aird 宅にて夕食　大学女性クラブと同席 |
| 10 月 1 日(火) | 9:00 | 教育委員会　サンデイヒル小学校訪問 |
| | 10:30 | フレーザーバレー大学学長訪問 |
| | Lunch | Tanglebank - Brambles Bistro |
| | 13:30 | 教育委員会　語学教師(Sandra Vanhove)訪問 |
| | 15:00 - 15:45 | フレーザーバレー大学　リー学部長訪問 |
| | 16:00 | ホテルへ戻る |
| | 17:30 | Moxies restaurant on Simon Ave (at the hotel)<br>ビッキー・アサダとその仲間と夕食＆ディスカッション |
| 10 月 2 日(水) | 8:30 - 9:30 | 金融機関訪問 |
| | 10:00 - 10:30 | ミッション市長と会う　イングリッシュ・タルト喫茶店 |
| | 10:30 | 女性オーナーがいるミッションの小売店へ |
| | Lunch | ブラックベリーキッチン |
| | 13:30 | 商工会議所 |
| | 15:00 | 不動産会社 |
| | 16:15 | ホテルへ戻る |
| | 17:45 | アボツフォード柔道道場　スダ トクエさん訪問 |
| | 18:00 | ハイストリートショッピングモールにて各自夕食＆ショッピング |

| 日(曜日) | 時間 | 研修・活動内容 |
|---|---|---|
| 10 月 3 日(木) | 9:00 | クリスティーン・ウィーブ　起業家　訪問 |
| | 10:30 | アボツフォード・ミッションリサイクルセンター |
| | Lunch | Clayburn Village Store |
| | 13:30 | アボツフォードホスピス |
| | 15:00 | S.P.C.A |
| | 17:15 | ホテルへ戻る |
| | 18:00 | セブンオークショッピングモールにて各自夕食＆ショッピング |
| 10 月 4 日(金) | 9:00 | アボツフォード芸術評議会 |
| | 10:30 | Trethwey House |
| | 12:00 - 13:00 | シーク寺院(昼食含む) |
| | 13:30 | ミルレイク周辺の散策 |
| | 15:00 | The Reach |
| | 16:30 | インターナショナル・フレンドシップ・ガーデンズ |
| | 17:15 | ホテルへ戻る |
| | 18:00 | Aird 宅にてお別れパーティー |
| 10 月 5 日(土) | 9:00 | ホテルチェックアウト |
| | 9:30 | ファーマーズマーケット |
| | 9:50 | バンクーバー空港へ |
| | 11:00 | バンクーバー空港到着 |
| | Lunch | 空港で昼食 |
| | 13:50 | バンクーバー空港発(AC003) |
| 10 月 6 日(日) | 15:50 | 成田空港着 |
| | 17:55 | 成田空港発(AC6235) |
| | 19:45 | 新千歳空港着　バス迎え |
| | 22:00 | 深川市役所到着 |

# 訪 問 日 程 の 概 略

## ９月２９日・日曜日（１日目）

前日までの天候の不安が嘘のような晴天の中、2019 市民姉妹都市訪問が始まります。JR 深川駅に大きなトランクと共に全員が集合し、国際交流協会役員、事務局員（市企画財政課）、そして家族の皆さんに見送られ、出発！

新千歳空港に到着後、早めの昼食をとり、成田に向けて飛び立ちました。税関通過後、広い成田空港の散策、20 分遅れでバンクーバーへ飛び立ちました。

9 月 29 日(日)、日付変更線を超えて、現地時刻 9 時 25 分、バンクーバー着。今回の訪問日程を調整いただいた日加親善協会の役員であるエアードさんの笑顔に迎えられ、今回私達の足となるレンタカーで一路アボツフォードへ！！思ったより寒い風が吹いていました。ホテルへ向かう途中に、国境ラインを見ながら車は走り、国境警察の車にも会いました。マツクイからスマスマウンテンまでのドライブでした。

ｴｱｰﾄﾞさんと☛
握手を交わす団長

ホテルにチェックインし、隣接のデニーズで昼食をとりながら打合せを開始。ホテルでの生活のこと、メニュー選びのこと、朝食のこと、研修内容の確認等を行いました。食後、夕食までの時間、アボツフォード市内見学のドライブに誘っていただき、懐かしさを感じた団員、初めての訪問に興奮気味の団員がいました。

18：00　エアード宅での歓迎ポットラックパーティー。去年深川でお目にかかった方、今日お世話になる方等々、20 人を超える人々が集い歓迎パーティーが行われました。両市の交流開始の頃に、深川を訪問して下さった方から、今の深川の様子を尋ねられました。お土産に持参したふかがわシードルも大変好評でした。皆さん優しく、迎え入れて下さった一日が終わりました。

☝パーティーのお料理

☝楽しく歓談している団員たち

## ９月３０日・月曜日（２日目）

いよいよ、アボツフォード市での視察研修が始まります。昨日とは打って変わって晴天の清々しい空気の中、エアードさん運転の車で移動を始めました。

### 9：00～　アボツフォードコミュニティ財団訪問

コミュニティ財団のウェンディさん

ウェンディさんの出迎えを受け、財団の考え方と活用について研修しました。

彼女は、これまでの就業経験を活かして、2013 年に財団のエグゼクティブディレクターに応募し、その地位を得ました。

この財団はタスイファミリーからの寄付を資金として、学生へのスカラーシップ、芸術、農業、子どもの健全育成等に援助しています。将来のある人に、地域の大人としてできる援助を行い、この財団のことを知って、成長し、活躍して欲しいとの願いが込められています。

### 10：30～　アグリフェア

シンディ・ローウェルさんに説明を受けました。アグリフェアは、地域の人に農業を知ってもらうために、８月初めに３日間のフェアを開催しているお祭りで、古い農機具を集め、保存し、フェアで住民に披露して、農業の歴史を知らせるなどしています。シンディ・ローウェルさんは、女性として、また、このフェアの代表として、男性の中でピンクのトラクターに乗り活動し、アグリカルチャーへのスカラーシップ、終末期の子どものチャリティなど女性が活動しやすい環境づくりに取り組んでいるとのことです。

骨董トラクターをピンクに塗っている

ノースリーブの元気なシンディさん

12：00～　エアード夫人のシーラさんの案内により、ダウンタウンにて女性経営者の店舗を見学しました。女性がオーナーとして経営している料理器具店、手作り用品店、レストランを見学し、その細やかな心遣いと店づくりを見学することができました。その後、徒歩で次の研修場所に移動しました。

TEA　HOUSE

数十種類の茶葉

13：30～　アーチウェイ　コミュニティサービス

代表のジャニス・ミッチェルさんから説明を受けました。ここでは、地域に多様なサービスを提供しています。50 年に及ぶ活動で 90 以上のプログラムを提供しており、多くは移住者に対する文化の説明や通訳等であるとのことです。ジャニスさんのこれまでの職業経験を活かして、多様な相談に応じサポートを続けています。最後に潤いと心安まる場、そして食糧の提供として施設周辺のガーデンを紹介してもらいました。自信に満ちた考えと行動を学ぶことができたと思います。

1969 年から始まったアーチウェイ

代表のジャニスさんらと共に

16：00～　リンダ・ユタス　ビジネスウーマン訪問

住宅街にある彼女の自宅を訪問しました。豪華な住宅に招かれ、その美しさに歓声が上がりました。彼女は、アボツフォード市周辺に留学する世界中の学生にホームステイ先を紹介する、「ホームステイコーディネーター」です。これまで教員として働きながらアイスホッケーのコーチとしても活躍してきました。さらに、アイススケートスクールも設立しています。パワフルな経験、教育者、そして母としての視点から、留学生へのサービスを手がけており、安全な生活の中で、学ばせたいというリンダの気持ちを強く感じた。

素敵なビジネスウーマン　リンダさん

18：00～　エアード宅で大学女性クラブ会員のジャッキーさんとパトリシアさんと出会いました。

このクラブは、カナダの 90 の大学に存在し、世界にも多数あるそうで、会員同士の強いつながりにより、教育を通して子ども達や地域に対する活動を展開しています。これまでの自身の経験を活かして、ボランティア活動に参加しています。人と人のつながりを大切に地域のために活動しているお話に多くを学ぶことができました。

大学女性ｸﾗﾌﾞ　ｼﾞｬｯｷｰさん　ﾊﾟﾄﾘｼｱさん

## １０月１日・火曜日（３日目）

9：00～　サンディヒル　小学校訪問

先住民族である地域住民の意思を生かして開設されている公立小学校を見学しました。これまで苦痛を強いられていた先住民族の子ども達のための教育活動の説明の後、マァリー校長の案内で子ども達の活動を視察しました。特別な指導を要する子ども達への取り組み、子ども達の日々の心の動きに合わせた指導方法、職員の研修の大切さについて話を聞くことができました。職業を得る上での男女平等の努力についても聞くことができ、日々の努力に感動して視察を終えました。

10：30～　フレーザーバレー大学　ジョアン・マクリーン学長を訪問

2 年前から 5 年の任期で学長となったジョアンさん。学長として、全体を統括するための優秀な職員に恵まれ、教育機会のなかった人にチャンスを与え、成果を上げる大学となるように努めています。65 カ国の留学生は全校生徒の 20%にあたります。留学生を受け入れていることが、カナダの学生に文化・言語を共有させてくれる良い機会だと捉えていました。これまで、常に家族や周りの人に支えられ、求められながら願いを実現することができたとのことです。これからも、自分の力を高めながら仕事に励みたいとの強い意志に心を揺さぶられ終了しました。

ジョアン学長

12：00～　郊外にある農園レストランにて女性オーナーと出会う事ができ、アボツフォードの秋の雰囲気に囲まれ、エアード夫妻に案内され見学し昼食会を行いました。

店名 tanglebank☛

13：30～　サウスポプラ　トラッディショナル小学校

サンドラ先生から説明を受けました。この小学校は、市内に３つある特区の中の１つの学校で、学力向上を目指しています。学校を開放し、保護者に見学してもらい、入学を受け付けるなどをしています。毎年、定数以上の希望者がおり、待機児童も多くいます。ルール、学力、積極性、書く、読む、生活の安全等々10 に及ぶ願いがあり、280 人の児童が学んでいます。中でも一番の願いは、安全を確保することだと話していました。指導者も学校を誇りに思い、教育活動を行っていました。児童が日本語で迎えてくれたこと、歓迎のダンス等全てがサプライズでした。

サンドラ先生とマヤちゃん

トラのダンスパフォーマーと

15：00～　フレーザーバレー大学　ルーシー・リー学部長訪問

笑顔が素敵なルーシー・リー学部長

リー博士は、細胞科学の専攻で魚の筋細胞を培養し、同じ魚の筋細胞を形成する研究をしている方です。サイエンス部門の６学部を束ねている研究者で、研究の様子を研究室で説明していただいたり、サイエンス部の全ての学部を紹介してくれるなど、細やかな気遣いで対応していただきました。優秀で、優しくて、行動的な対応に頭が下がり、今後のご活躍を願って視察を終えました。

17：30～　ビッキー・アサダさんと３人の友人との懇談

私達の視察研修のためにビッキーさんとその仲間が集まってくださり、これまで経験してきた内容から、私達を激励するお話をしてくださいました。メアリーさんは、ブリティッシュ・コロンビア州政府で働いたことがあり、教育を受けることはとても大切であるとともに、自分自身がしっかり意志を持つことが大切であると話されました。シンディさんは、アボツフォード大学ビジネスコース職員で、高め合う友人を持つことが大切であり、深川の大学との学生同士の交流を願っていると話されました。バーバラさんは、ノースバンクーバーの市議や市長をされた女性で、今でも多方面で活躍されています。何事もあきらめることなく、自分の考えを持って努力することが大切と話されました。どの方もパワフルで、自分に自信を持って語られる姿に心を打たれました。

## １０月２日・水曜日（４日目）

8：30～　バーシーさん（37 歳）インド系

バーシーさんは、サイモンフレーザー大学で経済を学び、卒業後はファイナンシャルプランナーのアシスタントとして働き、ボスの退職時に会社の権利を買い取り、現在は資産運用、投資信託会社を経営している方です。ボランティア活動を通じて友人をつくり、人脈を広げ、顧客増につなげていきました。今はもっと会社を大きく育てるためにたくさんの人と会っているとのことです。喜んでもらえるように良い仕事をすることが大切と言っていました。

中央がバーシーさん。左は共同経営者の男性

将来に向かって輝いている笑顔が印象的でした。

## 10：00～　ミッション市長　パム・アレクシスさん

ミッション市は人口 4 万人余、北アボツフォードとも言われています。昔（1950 年が全盛期）は、アボツフォード市よりも大きな街だったが 1973 年に大きな橋が建設され、人が隣のアボツフォード市に流れるようになったとのことです。また、昔は林業が盛んだったが、屋根材としての木材が時代とともに使われなくなったこともあり衰退していった歴史があるようです。

女性市長としては 30 年ぶりで 1 年目。

男性達が大勢で押しかけ、パム市長を取り囲み自分達の意見を通そうと脅迫的な手段に出られたこともあったが、自分に信念を持ち高みを望んで強い気持ちで静観し乗り越えてきたと言っていました。これからも 50 代、60 代、70 代以上の女性が夢見て生活できるしくみづくりを考えていきたいと語っていました。過去に日本で企業の英語教師をしていたことがあるそうで、時折日本語も交えながら話がありました。なお、ミッション市は静岡県大山市の姉妹都市とのことで、この日は私たちへの配慮か、バンクーバー在住の日本人デザイナー作成の絣柄のブラウスを素敵に着こなし、小さな身体でパワフルに活動されている姿と優しさに感動しました。

イングリッシュタルトでの会合

女性オーナーの喫茶店
イングリッシュタルト☛

毛糸屋さん

毛糸店、グラフィックデザイン、タータンデザインなど商店街は素敵で小さなお店が並んでいる。

商品をネットで発信し売り上げアップにつなげているそうです。

## 13：30～　商工会議所専務　カタリーナさん（ギリシャ系）

才能あふれるカタリーナさん

社会学の修士を取得（ビクトリア大学）政府関係と輸出入、他の商工会議所でも働いた経験があるとのこと。今は推薦されて現役職に就いたそうです。

今までの経験を活かして政府とビジネスの色々な橋渡しをしていきたいそうです。将来は、政治に関わりたいという夢を持っているとのことで輝いていました。

15：00～　不動産会社 Quantum Developments　ダイアン・ディビスさん

元々不動産鑑定・調査の仕事をしていましたが 19 年前に起業。問題もあったがつくる側の人間と良いかかわりを持ち、会社を大きくしてきました。奨学金制度も設立し、それを利用し学校で学んだ女性エンジニア達がカナダ国内外で活躍しているそうです。また、ボランティアも随分しています。ホスピスにも寄付し、その施設には会社の名前のついた部屋もあるほどです。

成功の秘訣は…失敗しても（どんなことがあっても）命まではとられないからと思いやっていくことだそうです。人々に諦めを言わない、諦めさせてはいけない、否定的ではなく、前向きでいなさいと伝えているとのことです。親には“あなたなら出来る”と言って育てられたので信じてきたとのことでした。

応接室のテーブルにはおもてなしのお菓子、フルーツが並び女性ならではの気遣いが感じられました。

**ダイアンさん**

**お・も・て・な・し**

17：45　アボツフォード柔道道場　スダ・トクエさん（東京 深川出身）六段位

現地で道場を持ち柔道を教えている。

**宮川団長の隣がスダ氏、前々市長ピアリーさん**

2010 年に来深された前々市長のジョージ・W・ピアリーさんも当日練習していて、懐かしそうに深川のお話をされていました。子ども達も入れ替わり練習に来ていて賑わっていました。今は強い選手が育っているそうで、玄関に賞状やメダルが飾ってありました。

18：00～

ハイストリートショッピングモールでショッピングと夕食

日本のカードが使えない所もあることからＡＴＭでお金た。ＡＴＭは商店街に沢山ありました。

夕食はエアードご夫婦とご一緒しました。

## １０月３日・木曜日（５日目）

### 9：00～　クリスティーン・ウィーブさん宅訪問

訪問日程も半分を過ぎたこの日、１番目の訪問場所は、クリスティーン・ウィーブさんの自宅でした。とても素敵な自宅を自由に見学させていただき、メープルサーモンや手作りのお菓子、テレビにはパワーポイントを利用し、私たちの名前を表示するなどのおもてなしを受けました。ウィーブさんは、昔から沢山のボランティアを行っていて、そのボランティアがきっかけとなって州の議員の秘書、政府や省庁での仕事をしていましたが、高校を卒業したのは２年前…。日本では考えられないようなことですが、必要なものを自分で見つけて学んでいけると話してくださいました。還暦を過ぎたお歳ですが、パソコンを使ってのプレゼンテーション、手作りのメッセージカードなど、本当に色々なことに長けていて、こんな素敵な方に学歴なんて関係ないと感じました。

パワーポイント活用したウエルカムボードに感激！

### 10：30～　アボツフォード・ミッションリサイクルセンター

まだ 20 歳代のマロリーさん

リサイクルセンターはゴミ処理施設に近いイメージを持っていたのですが、外観は似ているものの、働いている方々の雰囲気の明るさに驚かされました。

私たちに話してくれたのは２人の若い女性ですが、プレゼンテーションをしてくれたマロリーさんは、学生にリサイクルのことを積極的に教えるほどリサイクルへの情熱がありました。

それだけではなく、リサイクルセンターでは障がいのある方が多く働いており、その方々とのコミュニケーションを取るために働きながら大学まで通ってコミュニケーションについて学んでいます。そして、もう１人のローラさんは仕事に困っている人を助けることにやりがいを感じ、障がいのある方々が仕事を得るためには、自分がもっと学ばなければいけないと話してくれました。施設内の見学もしましたが４５人中１２人の女性が在籍しており、「事務仕事もするけど、男性と同じ仕事もするのよ！」と笑顔で働いていて、女性の優しさと力強さを感じることができました。

13：30～　アボツフォードホスピス

ここではマイラさんという女性が話してくださいました。ここのホスピスでは年代に合わせ、大人、子どものケアためのプログラムや、余命宣告を受けている方のケア、その家族のためのサポートなどを行っています。ホスピスのシンボルマークが蝶の理由は、幼虫からさなぎになって長い間眠り、最後には羽ばたいていくのが人生と似ているためだそうです。マイラさんが初めてホスピスに来たのは夫を亡くし、ケアを受けるためでしたが、その後、募集を発見し働くことを決めました。

マイラさんの仕事は目の前に座っている人の心に寄り添い話を聴くことです。ときには、悲しみに自分の気持ちが押しつぶされそうになることもありますが、相手の心からの声が聴けたとき、その人が将来への希望に目を向けたとき、働いていて良かったと心から思えるそうです。

シンボルの蝶

マイラさんを囲んで

15：00～　ＳＰＣＡ

SPCA とは、動物を保護し、新しい飼い主を見つける団体のことです。

飼い主が決まるといいね…

施設内には野鳥、鶏、モルモット、猫、犬など様々な動物がおり、その中に目の病気をもった大きな犬がいたのですが、明日手術だと聞き、保護したあとにそのようなケアをしていることに驚きました。動物の受け渡しは無料ではなく、新しい飼い主が 500 ドル程支払うと聞き、それくらいペットのために払えないなら飼ってはいけないであろうこと、そのお金で手術を行うことなどを聞き、保護された動物の側に立って考えていることが素晴らしいと感じました。

18：00～　アボツフォードで働く日本人女性との食事会

この日の夜は、カナダ在住のリチャードさんと結婚し、アボツフォードで働く日本人女性、悦子さんと食事会を行いました。悦子さんは、カナダへ来る留学生の受け入れ先を紹介をする仕事をしていますが、長年に渡り深川市ととても親交があり、過去の深川市公式訪問団での通訳、毎年の青少年カナダ交流訪問団の現地サポーターを担っていただいている方です。、昨年度は、実際に深川市を訪問しスピーチまで行ってくれました。悦子さんだけではなく、夫のリチャードさんも深川市に訪問し、娘のエリカさんも深川市での留学経験があります。現地でお会いした唯一の日本人女性ということもあり、色々な面でとても心強く感じていました。

## １０月４日・金曜日（６日目）

### 9：00～　アボツフォード芸術評議会

あいにくの雨模様の６日目。今日は、アボツフォードの芸術と文化を知る一日です。最初にアボツフォード芸術評議会事務局のジェニファーさんのもとを訪れました。

笑顔が素敵なジェニファーさん

ジェニファーさんは、大学時代に大学新聞に関わるかたわらスクールオブビジネスという大学の先生と生徒をつなぐ様々な事業を手掛け、卒業後は、観光事業の会社に勤め、そこでもアボツフォードに人を寄せるための企画を仕掛けていましたが、この会の会長からの強い申し出により現職に就いたとのことです。「私は賢いからここに招かれたの」というジェニファーさんは、自信に満ち溢れた素敵な笑顔で話されました。今は、ギャラリーのスケジュールや予算管理、また毎週行われている音楽コンサートの主催や、若い芸術家会員の作品展示・販売などをしています。

### 10：30～　Trethwey House

Trethwey House(タスイ ハウス)は、アボツフォードの歴史を語る上で欠くことのできない重要な資料館です。エグゼクティブディレクターのクリスティーナさんからお話を伺いました。タスイ氏は、1855 年よりオンタリオからこの地に移り住んだ中国人・インド人・日本人の移民労働者を集め、ここに住まわせ開墾しました。移民者は 18 歳以上の男性のみ。カナダに日系、中国系、インド系が多いのはこのことも要因です。

山を切り開き、切り出した木材を集めるミル(木材加工所)が 2 キロごとにあったことからミルタウンと呼ばれていました。労働者は、労働の対価に木材を与えられ、日本人はお風呂を、インド人は寺院を作りました。今でもその当時建てられたインド寺院が保存されていました。

クリスティーナさんはスゥエーデン生まれですが、小さいときからお金を稼ぐ努力と語学を勉強し、18 歳のときに貯めたお金でカナダへ移り住み、考古学の勉強をしました。しかし、考古学はあまり需要がなく乳幼児教育を学び直し、結婚後、カナダ永住権を取得。自宅で乳幼児向けのデイケア事業を始めました。子育て後に、再度、考古学を勉強し、今に至るとのこと。男性はすぐに結果を求める傾向にあるが、私はゆっくりでいいから行程を踏まえて、結果に結びつけてここまで来ましたと穏やかに話されました。

スゥエーデン生まれのクリスティーナさん

12：00～　シーク寺院

サトウィンダー・ベインさん(インド人・フレーザーバレー大学準教授)が、寺院を案内してくれました。大学勤務のかたわらブルーベリー農場も経営し、日本の企業とも取引をしているようです。

実際にお参りをするところにも連れて行ってもらいました。そこでは、頭を覆う布が必要でした。シーク教の基本的な考え方は“反差別、全ての人の平等”にあるようで、シーク教の信者ばかりでなく、異教徒でも旅行者でもすべての人が「ランガル(無料で提供する食事)」の習慣があり、私たちもベジタブルカレーなどをいただいきました。

頭は布で覆います

綺麗な祭壇

無料のメニュー

13：30～　ミルレイク周辺散策　※雨により車窓からの見学

※余談ですが…カナダ人は多少の(結構な)雨でも傘もなく活動するようで、エアードさんは行く気満々でしたが、この先の視察に影響なきようやんわりと断ったのでした。

15：00～　The Reach Gallery Museum Abbotsford

芸術作品の展示と開拓時代からの歴史(道具・写真・映像)を展示している施設。

施設に入るとすぐに先住民のモチーフとして、身長 7 フィート(2m 超)で 6 人の妻がいたという木彫の巨人が立っていました。先進的な芸術作品が展示され、24 人の地元のアーティストの作品で、先住民族出身の作品もあります。学芸員のクリスさんにお話を伺いました。今のアボツフォードに至る歴史を口承伝承はもちろんのことだが、口承だと限られた人しか後世に伝えられないため、それらをデジタル化することにより、長く残すことができ、より簡単に、そして子ども達にも興味をもってもらえるとのお話がありました。古いものを残すのはとても重要で、私の大好きな仕事だと語っていました。歴史が好きで、子どもの時に彼女の母親やおばあさんがよく昔話をしてくれましたし、学生時代の歴史の先生にも影響を受け 2008 年のこの施設の設立時から勤務されているとのことでした。

「まだまだこれからよ！」と元気いっぱいな方でした。

歴史を語るクリスさん

包容力がありそう…

16：30～　インターナショナル・フレンドシップ・ガーデンズ

そぼ降る雨の中でした。

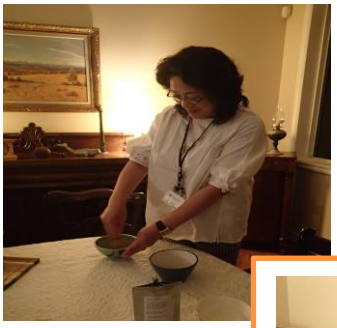
巨大な木？人？の像が…☛

18：00～　エアード宅にてお別れパーティー

とうとう最後の夜となりました。歓迎のポットラックパーティーのときにも来て下さった方、今回の訪問でお会いした方などたくさんの方が来てくださいました。

訪問団を代表して、宮川団長がエアード夫妻に英語で感謝のスピーチをし、団員全員が寄せ書き(英文)したカードなどを贈りました。また団長は思いを込めて、日本の歌(中島みゆきさんの「糸」)を皆さんの前で歌いました。(縦の糸はAbbotsford　横の糸はFukagawaと歌いました。)とても喜ばれ、英訳して伝えられました。

倉本副団長はお抹茶を振舞いました。佐藤団員は“篠笛”を披露しました。



パイを焼いてくれたり、日本食が恋しかろうと稲荷寿司を作ってくれたり、皆さん私たちを気遣ってくれました！

☝稲荷寿司！

最後は
エアード夫妻と
記念撮影

本当に
お世話になりました！

## １０月５日・土曜日～６日・日曜日

**アボツフォード→深川**

ついに帰国の日です。空港へ向かう前に、前日お会いしたジェニファーさんがスタッフをしているファーマーズマーケットに寄り、コーヒー、農産物、海産物、石鹸など幅広い種類の出店を見学しました。

バンクーバー空港では、１週間とてもお世話になったエアードさんとお別れをし、各自手続き。そして 10 時間の飛行機に乗り、日付変更線を越え、日本に到着。成田空港から新千歳空港まで乗り継ぎましたが、国際線に比べると一瞬に感じます。新千歳空港からはバスで深川まで送っていただき、20 時間以上の移動時間を経て全員無事に帰宅することができました。

# 2019 年度　市民訪問団　姉妹都市派遣事業を終えて

深川国際交流協会
副会長　宮川　央子（団長）

〈20 年は長かった〉

平成 10 年 5 月、縁あって、アボツフォード市の姉妹都市提携訪問団の一員としてアボツフォード市を訪れた経験がある。そのときの街の様子や風景に、深川にとても似ている街だと感じ、この姉妹都市友好関係が永く続くことを期待したことを思い出した。

しかし、あれから 20 年経過したアボツフォード市は大きく発展し、都市化が進んでいることに驚いている自分がいる、まずこれが一番の感想である。

〈今回の仲間と〉

出発前の 9 月 7 日に初めて私達 5 人が事前研修で集まった。私は、他の 4 人の団員とはそれぞれ交流があったが、初めて対面した団員もいた。初めての女性だけの訪問団、初めての市民訪問団、5 人だけで行くこと等々、不安の方が先行していた。しかし、いざ出発して、時間を共にしていく中で、良い仲間となって帰国できたと思っている。

エアード夫人のシーラさんが「これからも、このブレスレットでいつまでも繋がっていて」と、お別れにくださったファーストネーション（先住民）の模様が刻まれたブレスレットがある。同じ時間、同じ感動を共有した仲間として、年代こそバラバラだが、これからも深川市のために考えるグループでいたいと思う自分がいる。これが決意である。

〈ワクワクの毎日〉

今回は、多くの女性にインタビューをする事ことができた。事務所を訪問したり、作業所だったり、ご自宅だったりした。特に、ご自宅にお招きいただいたときには、その雰囲気から感じる、生き方の素敵さがあった。本当に輝いている時間でした。

人と交流することが大切、人のために何ができるのか、そして、自分は何をしたいのか、何を目指すのかを明確にする。決して諦めてはいけない等々、改めて気づくことができました。

決して若くはない自分ですが、できる限りの努力をすることが、この訪問団に参加させていただいたことへの恩返しと思う自分がいる。”Never give up”これが想いである。

〈最後に〉

高校二年生のときに交換留学生として来ていた悦子さんの娘のエリカに会えたことが幸運でした。21 歳になっている彼女は、美しく優しい女性になっていました。この訪問団に参加できたおかげとしみじみ感じています。

深川商工会議所
常議員　倉本　茂子（副団長）

この度、姉妹都市派遣事業の市民訪問団の一員として女性5名でアボツフォード市を訪問しました。

初めて訪れる同市が、1986年から2016年までの30年間で人口が約10倍の14万人以上に増えたことを聞き、経済的にどのような変化が起こっているのかに興味を持ちました。

今回の訪問団は、各分野から参加する女性5人ということもあり、アボツフォードでお会いしたのも教育関係、ミッション市の市長、商工会議所専務、会社経営者、ボランティア主催者、ホスピス関係者などでご活躍されている女性の方々ばかりでした。それぞれに生まれ育った環境、家族構成などプライベートなことまで心を割ってお話ししていただき、こちらも自己紹介を片言の英語で話しお互いに親交を深めました。

その中で仕事に対する情熱となぜ成功できたのか、また、これからの夢などを聞くことが出来ました。今回30名以上の女性とお会いして感じたのは、皆さん常に前向きで自分を信じて努力を続けているということです。皆さんから、ものすごいエネルギーが伝わってきました。

郊外に大きな商業施設がいくつかあり、夜まで賑わっておりましたが、古い商店街の街並みがきれいに残っており、個々の店が魅力的で個性的な物作りもされており、インターネットでも利益を得るように努力されていることも聞きました。新しいものと古いものが共存できていることに感激しました。

教育関係も同じ公営でも、それぞれ特徴が活かされ、魅力ある学校づくりをしていて、結果も出していることに感動しました。今では深川とは規模も随分違ってきましたが、これからは、まだ深川の当たり前にある沢山の魅力を上手く引き出し発信していく可能性に期待したいと思います。

最後に、今まで経験したことのない素晴らしい体験の機会を与えてくださったことに感謝します。これからも愛する深川のために、何かの形で恩返しできたらと思っています。

きたそらち農業協同組合
金融共済部長　井上　正恵（団員）

深川市がカナダ アボツフォード市と長きにわたり交流をしているなかで、“女性5名のみ”で初めて行くという交流事業に参加させてといただいたことについて、まずもって深くお礼申し上げます。

出発した北海道の季節は秋、到着したバンクーバー空港からアボツフォードへの車窓は、英語文字がなければ、北海道の秋、いや深川の秋風景を見ているようで、親しみを覚えました。

翌日からは今回の目的である「アボツフォード等で活躍する女性との交流」でした。30名余りの女性たちが生い立ちから、今に至るまでの人生、どうして今の私がこのように活躍しているのか、これから先何をしていくのか、などを語り、そして締めには私たちに向けて“常に前向き”なメッセージを贈ってくださいました。「決して諦めてはいけない」「いい友人を見つけなさい」「女性が、男性が、と言うのはただの言い訳」等々、年齢や境遇、職種や肌の色も様々でしたが、自分の芯をきちんと持っていて、前向きで向上心のある素晴らしい女性たちばかりでした。彼女たちの生き様をお手本に、聞かせていただいたメッセージを大切にし、咀嚼し、伝えていきたいと思いますし、少しでも身に付けていけるようにしたいと思いました。そして、もう一つ感心させられたこと。行く先々での美味しい手作りスィーツ！素敵なおもてなしの心も学びました。

最後の夜、エアードさん宅でのさよならパーティーでは、今回お会いし、お話を聞かせてくださった数名の女性も駆けつけていただき、和やかに会食をしましたが、特に宮川団長の歌う中島みゆきさんの『糸』はカナダ人の心を揺さぶったようでした。※『糸』は英訳されたものが伝えられたようです。

最後になりますが、今回の視察に際し、全行程のお世話をお引受くださったエアード・フラベルさんとシーラ夫人に感謝申し上げると共に、4名の素晴らしい深川の女性たち、パワフル宮川団長、素敵な倉本副団長、語学力ない私に親切に通訳をしてくれた定岡統美さん、一番の若手でも常に冷静な佐藤“ぺんぎん”志代さんとの出会いに感謝します。

深川国際交流協会
理事　定岡　統美（通訳）

## 市民訪問団として

2019 年度市民姉妹都市訪問団のテーマが「地域で活躍する女性の国際交流」と決まったとき、私はぜひ関わらせていただきたいと強く願いました。深川市で働く女性と姉妹都市アボツフォード市の女性達のコミュニケーションのお手伝いをさせていただきたい、今までの国際交流のボランティアで知り合ったアボツフォード市の友人達と繋げたい、そして令和の時代の姉妹都市交流の絆を深めたいという想いがありました。

## 30 名の女性と

6 日間で 30 数名のアボツフォード市で活躍する女性とお会いし、生い立ち、教育、キャリア、そしてこれからの未来についてお話を聞きました。お話を伺う度に新鮮な感動と共感を得ました。カナダのお国柄の文化が影響しているリアルな女性の生活を聴く機会などまず得られるものではありません。毎日が興奮と情報で頭もお腹も一杯になりました。

その中で繰り返し聞き、印象に残った言葉が、volunteer（ボランティア） equality（平等）diversity（多様性）sustainable（持続可能な発展）でした。アボツフォード市の女性達は学生時代から多くのボランティアに関わり人と繋がり、人生や仕事に影響を受けています。多種多様な民族が集まる移民の国であり、平等や多様性を受け入れ、環境を意識した経済の持続可能な発展への意識が高いと感じました。現地での友人も増え、いくつか新しい交流の計画を話すこともできました。

## Mr. and Mrs. Flavelle

深川市と長く交流のある Aird Flavelle 氏と奥様の Sheila さんが今回のプログラムを計画してくださいました。このような貴重な体験ができたことを心から感謝しております。感謝の気持ちをご夫妻に何度も伝えましたが、その都度「こうして話を聞かせてくれないか、と知人達に頼めるのもボランティアを通して繋がっているからなのだ」とエアード氏はボランティアの意義を教えてくださいました。

現地での貴重な経験を通じて、深川市で活躍する女性団員とも絆が深まり多くのことを学ばせて頂きました。今後も国際交流に様々な形で関わり、得たことを活かしていきます。

最後に、このような機会をいただきましたことを関係者各位に心より感謝申し上げます。

深川青年会議所
佐藤　志代（団員）

今回は、2013 年に青少年カナダ交流訪問団の引率者として初めてアボツフォードを訪問して以来、2 度目の訪問となりました。お話をいただいたときには、深川青年会議所の代表、そして深川市民の代表の一人として、アボツフォード市の方々に接することの責任の重さに不安を感じましたが、女性のみの訪問団ということもあり、前回とは違う視点で訪問できることが楽しみでもありました。

細かい訪問の内容は、アボツフォードに渡るまで不明でしたが、実際に行ってみると、アボツフォード滞在中に 30 人以上の女性たちにお会いし、話を聞くというとても内容の濃い１週間でした。

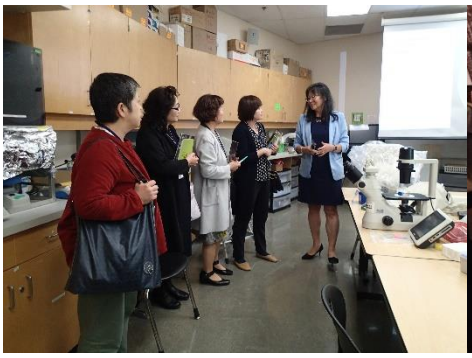
年齢や職業等は関係なく、ほとんどの女性に共通していると感じたことは、現状のままでいいと考えていないことです。今の仕事の次はこういうことをしたい、もっともっとステップアップしたい、自分に足りていないことを勉強したいなど、積極的に前に進もうとしている姿勢がとても輝いて見えました。そして驚いたことは、女性だけに限る話ではありませんが、ボランティア活動の多さです。カナダでは高校や大学卒業後にすぐ就職する若者は少なく、色々な短期の仕事や、たくさんのボランティア活動により自分を高めてから就職したり、そのボランティア活動を通した出会いにより仕事を紹介されるなど、日本とは全く違う就職の形でした。だからきっと一つの仕事や会社に固執せず、自分のしたいことがあればその方向に向いて進んでいけるのだと思い、出会った女性たちがたくさんの経験を積んでいることに納得することができました。

私が所属している JC(深川青年会議所)という団体は、アメリカ発祥の団体ですが、カナダにはありませんでした。ですが、アボツフォードではボランティアと言われている活動の中に、イベントやお祭り、まちづくりに関わるものが多くあり、年齢に関係なく市民１人１人がアボツフォード市を盛り上げていると感じました。そして、移民や亡命者、ホームレスなどの困っている人のために何かしたいと思い、寄付なども含め、実際に行動している人や団体もとても多かったです。

アボツフォード市の女性たちみんなが、この訪問で出会った女性たちのようにパワフルかどうかはわかりませんが、女性オーナーのお店の多さ、団体の代表、不動産会社の社長、ミッション市の市長、小学校の校長、大学学長等、簡単な道ではなかったと語ってくれましたが、こんなにもたくさんの女性が活躍しているのを見ると、自分ももっと頑張れるのではないかと刺激を受けることができました。

このような貴重な体験をさせていただき、本当に深川市とアボツフォード市の関係者の方々には感謝しています。そして、1 週間乗り切ることができたのは、4 人のメンバーのみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

# Abbotsford Gallery



RAYMOND

RAYMOND JAMES

QUANTUM

Legacies on the Lake

# アボツフォード市の概要

１９９５年１月、マックイ市とアボツフォード市が合併して誕生した、カナダのブリティッシュ・コロンビア州南西部、バンクーバーから７２キロメートル東に位置する州内最大級の農地を有する農業都市。

土地の最初に開発は、ゴールドラッシュの時期に当たる１８５８年に、イギリス軍によってフレーザー川流域の測量が行われたことに始まる。１８６０年代後半、入植者はタバコ、牛乳、バターなどの乳製品を生産していた。

人口は、約１２万４，０００人で州内第５位、国内第３７位の人口規模を持ち、面積約３６０平方キロメートル。

アメリカと国境を接しており、南東１００キロメートルのところにベーカー山がある。

温暖な気候と都市部周辺の農場地帯の土壌が、乳製品、卵、鶏肉、野菜、果樹や畜産など数百万ドルの産業を生み出し、地域経済を支えている。

また、フレーザーバレー地域の小売業の中心地でもあり、国政的な商店街、田舎の伝統的で親しみのあるダウンタウンなどユニークなスタイルの商業エリアがある。

本市とは、１９９４年に行われた拓殖大学北海道短期大学とフレーザーバレー大学の姉妹大学提携を機に、市民レベルの交流が始まり、深川市から１９９６年に市民交流調査団が、１９９７年には深川市長を団長とする親善訪問団がそれぞれアボツフォード市を訪問した。

１９９８年５月にはアボツフォード市において、カナダ・アボツフォード市姉妹都市提携使節団として訪問した深川市助役がアボツフォード市長とともに姉妹都市提携に係る覚書を取り交わし、１９９８年９月１４日深川市において提携調印を行った。姉妹都市提携以前の１９９７年から中高生による青少年カナダ交流訪問団を派遣するとともに提携以降は交換留学制度の創設による青少年交流や、混声合唱団コール・メムが訪問を行い、ジョイントコンサートを開催し、老人クラブや小学校を訪問するなど、市民レベルでの文化交流を重ねている。

# アボツフォード市との交流経過

| 年 | | 月 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1990 | 平成２年 | | 拓殖大学北海道短期大学とフレーザーバレー大学に紹介資料を求め、大学間交流開始 |
| 1994 | 平成６年 | 11 | 拓殖大学北海道短期大学とフレーザーバレー大学が姉妹協定 |
| 1996 | 平成８年 | ６ | 深川市国際交流推進協議会設立 |
| | | ９ | カナダ市民交流調査団派遣 |
| 1997 | 平成９年 | ２ | 国際ソロプチミスト深川とソロプチミストアボツフォードが姉妹提携 |
| | | ３ | 深川国際交流協会設立 |
| | | ６ | 第１回青少年カナダ交流訪問団派遣（以後毎年派遣、H15は中止） |
| | | ８ | カナダ親善交流訪問団を派遣 |
| 1998 | 平成10年 | ５ | アボツフォード市姉妹都市提携使節団派遣<br>「深川市とアボツフォード市の姉妹提携に関する覚書」を交わす。 |
| | | ９ | アボツフォード市代表団受入<br>アボツフォード市と姉妹提携調印式を挙行 |
| 2000 | 平成12年 | ８ | 深川市公式訪問団派遣（親善交流及び交換留学についての協議） |
| 2001 | 平成13年 | 10 | 高校生の交換留学制度事業創設（米国同時多発テロ事件により中止） |
| 2002 | 平成14年 | ５ | アボツフォード市公式訪問団受入 |
| | | ９ | アボツフォード市留学生５人受入 |
| | | 12 | 深川高校生５人アボツフォード市に派遣 |
| 2003 | 平成15年 | 11 | 混声合唱団コール・メムが訪問 |
| 2004 | 平成16年 | ７ | 深川市公式訪問団派遣（親善交流及びスポーツ交流） |
| | | | アボツフォード市留学生３人受入、深川高校生３人派遣 |
| 2005 | 平成17年 | | アボツフォード市留学生１人受入、深川高校生１人派遣 |
| 2006 | 平成18年 | ８ | アボツフォード市公式訪問団受入 |
| 2007 | 平成19年 | 11 | 深川高校生２人派遣 |
| 2008 | 平成20年 | ８ | 深川市公式訪問団派遣 |
| | | ９ | アボツフォード市交換留学生２人受入れ |
| 2009 | 平成21年 | 10 | 深川市高校生１人派遣 |
| 2010 | 平成22年 | ８ | アボツフォード市公式訪問団受入 |
| 2011 | 平成23年 | ８ | 深川市経済交流調査団派遣 |
| | | ９ | アボツフォード市交換留学生１人受入れ |
| | | 10 | 深川国際交流協会代表者派遣 |
| | | 10 | 深川市交換留学生２人派遣 |
| 2013 | 平成25年 | ８ | 深川市公式訪問団派遣 |
| 2016 | 平成28年 | ８ | アボツフォード市公式訪問団受入 |
| 2018 | 平成30年 | ７ | アボツフォード市民訪問団受入 |
| 2019 | 令和元年 | ９ | 深川市民訪問団派遣 |